

議会報告会記録（平成 23 年 10 月 27 日（木） コミセン小ホール）

1 部 議会報告

6 月議会に関する質疑応答

問：大豊副市長を選任した経緯について説明してほしい。

答：県とのパイプ役として採用されたと思われます。

問：市長が頼みに行ったのか詳しく説明してほしい。

答：その件については議論をしておりません。

要望：今後もっと議論をしてほしい。

問：教育委員会委員の任命についての議案で、ある議員からは人権差別を受けられた事について質問をされていたが、議員の同意方法に問題があるのでは。

答：総務委員会では議論されておりません。

要望：1 2 月議会で議論をしてほしい。

9 月議会に関する質疑応答

問：議案第 54 号と議案第 56 号が否決になっているが、ネット中継で市長の発言に対して市長と議員との関係はどのようになっているのか。

答：私たち議員は議案の中味について説明審議を行っている。

問：市長がその件について言った、言わないと言う審議をしたのか。

答：議案の内容についてしっかり審議した結果、否決されたものです。

問：水道料金の値下げの内訳について説明してほしい。

答：一律部分と使用量について説明（8 立方メートル以下の家庭はそれ以上の減額になる。）

問：陳情第 5 号について、定数の減とは関係ないのでは。

答：報酬等検討特別委員会で審議し、9 月の委員会で採択して条例第 4 号で記載しております。

問：定数が 1 8 名から 1 5 名に減り何故、報酬が減っているのか。

答：議員全員の報酬額が減額になっています。

問：その理由を説明してほしい。

答：近隣市町に比べて低い、又特定の方しか立候補出来なくなる。

議員報酬を減額してはどうか？という意見が議員の中からも多く出された結果、特別委員会で慎重審議を重ねて行った結果とご理解願いたい。又、詳しい事は議会だよりに掲載させて貰っておりますが、今後共、検討する予定です。

2部 市政全般についての意見交換

問：採決・不採択、原案可決・否決の意味が解り難いのもっと簡単な表現方法がないのか。

答：議会の法に基づく表現方法なのでご理解をお願いしたい。何らかの方法で説明致します。

問：議員報酬の説明の中で納得のいかない所が多々ある。

答：議員報酬については毎年検討します。

問：議会基本条例の第20条を無視しているのではないか。

答：議員報酬の審議についてはしっかりと条例に基づいて行っております。

問：議員報酬は昨年と比較してどうか？前年と変わってないことをはっきり言う様に。

答：期限が過ぎているため条例に基づいて行っています。

問：公聴会・特別委員会はいつするのか？

答：未定です。

問：議員報酬について特別委員会を設置していることは、素晴らしいことです。

農地・水事業について、市の負担はどうなるのか。又、何故九会地区が、12町の内11町が選択されたのか。又、教育長の人権差別問題の件は議会として進めていくのか。

答：全体の61町が採択候補として上がっていますが、20%増えた分についての補正があります。また採択にもれた町に対しては市で対応するとのこと。校区毎の採択については、資料を提供します。公平・平等性で進めるべきであると考えます。

問：教育長については、市長の任命責任になるのでは。

答：最初にお答えした通りです。

問：議長について公平・公正・中立の立場はどうか。

答：委員会での発言はしております。オブザーバーとしては当然のことです。